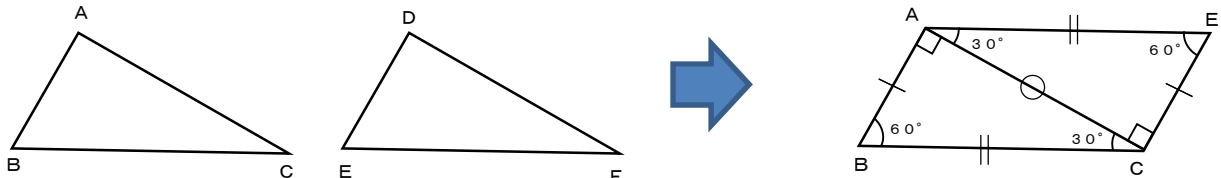


中学校第3学年用「Sイチ」

Sサポート「チャレンジ問題②」	学年等	年 組 番
Today's Question (今日の1問)	名 前	

30°、60°、90°の同じ三角定規を2つ用意し、それぞれ△ABC、△DEFとします。

この2つの三角定規を組み合わせてできる四角形について考えます。



右図のように、2つの三角定規を組み合わせると、四角形ABCEができます。△ABCと△CEAは合同なので、対応する辺の長さや角の大きさが等しいことがわかります。

このことから、四角形ABCEが平行四辺形になることは、平行四辺形になるための条件を用いて説明できます。

下の㊦、㊧のどちらかを選び、選んだ条件を用いて説明を書きましょう。㊦、㊧のどちらを選んで説明してもかまいません。

- ㊦ 2組の向かい合う辺がそれぞれ等しい四角形は、平行四辺形である。
- ㊧ 2組の向かい合う角がそれぞれ等しい四角形は、平行四辺形である。

選んだ記号 ()

答え（例）

※選んだ記号 (㊷) の場合

$$AB = CE \dots \dots \textcircled{1}$$

$$BC = EA \dots \dots \textcircled{2}$$

①、②より、2組の向かい合う辺がそれぞれ等しい四角形は、平行四辺形である。

※選んだ記号 (㊸) の場合

$$\angle ABC = \angle CEA \dots \dots \dots \textcircled{1}$$

$$\angle EAB = \angle BCE = 120^\circ \dots \dots \textcircled{2}$$

①、②より、2組の向かい合う角がそれぞれ等しい四角形は、平行四辺形である。

間違っていたら、どこで、何を間違えたのか確認し、もう一回、答えを見ないでやってみよう。

選んだ記号 ()